

令和3年度 南知多町立師崎小学校 学校評価アンケート集計結果まとめ

数値の欄は、4段階評価の（4：とても 3：まあまあ 2：あまり 1：まったく）の平均値を記しています。

	設 問	対象者	数値	コ メ ン ト
1	学校は、学校教育目標の達成に向けてしっかり取り組んでいる。	教師	3.4	児童アンケートでは、特に、「あいさつ」や、「最後まで粘り強く取り組むこと」、「将来の夢をもつこと」がよくできていました。ご家庭での習慣付けや声かけなどのご協力もあり、おおむね目標を達成していると考えます。今後も家庭や地域と連携し、教育活動全体通して学校教育目標達成に向けて取り組みます。
		子ども	3.5	
		保護者	3.3	
2	学校は教育活動の情報発信や説明責任を果たしている。	保護者	3.4	ホームページや学年だより等により、学校生活の様子を家庭や地域に伝えるようにしています。ぜひ、これらの情報をもとに、ご家庭で学校の様子等を話題にしていただけたらと思います。
3	学校は、学力向上に向けしっかり取り組んでいる。	教師	3.6	師崎小学校では、「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業」として、すべての児童が参加しやすく、分かりやすい授業を目指しています。学習の進め方やノートの取り方等、一つ一つ丁寧に指導していくことで、児童の「分かった」「できた」の笑顔を増やし、学力の向上を図ります。今後は、タブレット端末等の、学習支援のためのより効果的な活用が課題であると考えています。
		子ども	3.3	
		保護者	3.3	
4	学校は、話し合いを大切にした授業を中心に、思考力・判断力・表現力の育成について、しっかり取り組んでいる。	教師	3.0	授業では、まずは自分の考えをしっかりとつことを大切にしています。しかし、これらの意見を発表し合う活動では、進んで発言する児童に限られてしまう現状もあります。今後、話し合いのテーマや方法等を工夫することで、話し合い活動の活性化につなげ、表現力の育成を図りたいと考えます。
		子ども	3.0	
		保護者	3.1	
5	学校は、豊かな心を育むため、しっかり取り組んでいる。	教師	3.6	児童のアンケートから、行事やなかよし班での活動が楽しいと感じている児童が多いことが分かります。コロナ禍で様々な活動が制限される中ではありますが、児童は、どの行事でも、一生懸命に、楽しく取り組むことができました。また、なかよし班活動は、上級生の責任感や思いやりのあふれる姿がたくさん見られ、今後も大切にしていきたい取組であると考えます。
		子ども	3.9	
		保護者	3.5	

6	学校は、体力向上に向けしっかり取り組んでいる。	教師	3.0	気候等にもよりますが、大放課や昼放課に外で遊ぶ児童が限られているように感じます。なかよしタイム（月に一度、大放課に行く縦割り班活動）では、どの児童も運動場や体育館で元気よく遊ぶ姿が見られました。体力向上の取組の一つとしても、今後もこのような機会を大切にしていけます。また、今年度は緊急事態宣言等の影響で部活動ができない日が多くありましたが、部活動でも体育の授業でも、限られた時間の中でしっかりと運動量を確保することが大切であると考えます。
		子ども	3.3	
		保護者	3.0	
7	学校は、健康や基本的な生活習慣の確立に向けて取り組んでいる。	教師	3.5	ご家庭でのご協力もあり、子どもたちは石けんでの手洗い・うがい・歯磨きなどの基本的な生活習慣がよく身に付いています。しかし、児童アンケートを見ると、朝の排便や早寝早起きの習慣づけが課題であると考えます。特に、睡眠習慣については、スマホやテレビ、ゲーム等のメディアとの付き合い方が大きく関わる人が多いと思われる。メディアの使い方やルール等、ご家庭でも話し合っただけならと思います。
		子ども	3.4	
		保護者	3.2	
8	学校は、防災教育や安全教育に、しっかり取り組んでいる。	教師	3.4	危機管理意識を高め、自分自身で判断する機会を大切にするために、火災避難訓練では出火場所を毎年変えたり、地震避難訓練（シェイクアウト訓練）では日時を知らせずに実施したりするなど、訓練の方法を工夫しました。児童も教職員も、防災に対する意識や知識を深めることができてきました。今後も「自分の命は自分で守る」防災教育を進めていきたいと考えます。
		子ども	3.9	
		保護者	3.2	
9	学校は、いじめや体罰の防止に、しっかり取り組んでいる。	教師	3.8	児童・保護者の意識と、教師の意識との差があります。この結果を真摯に受け止め、今まで以上に日頃から子どもの様子をよく観察し、子どもの声に耳を傾けたり、声をかけたりしていきたいと考えます。また、道徳教育・人権教育について、今後も教育活動全体を通して取り組んでいきます。さらに、教職員同士や家庭との連携を一層図っていくことも必要であると考えます。
		子ども	2.7	
		保護者	2.9	